

# 消火活動困難な火災に対応するための消火手法の研究開発

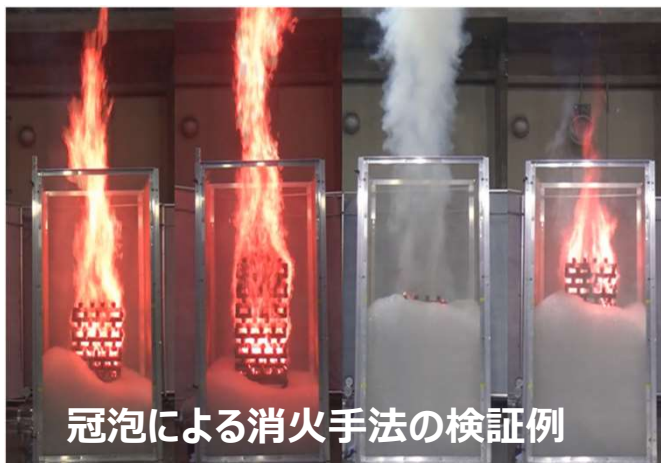
近年急増する大規模倉庫では、ひとたび火災が発生し初期消火に失敗すると、急激な延焼拡大により消火が極めて困難な火災となる。実際、そのような火災は多発しており、消防隊員の殉職も起きている。このような火災に対処するため、(1)区画火災のより安全で効率的で効果的な消火手法の研究開発を行い、(2)開発した消火手法を実用化するための現有消防資機材を活かした資機材開発を行う(研究期間：R8～R12)。

## 大規模倉庫火災時の消火活動困難性



## 研究内容(1)

区画火災のより安全で効率的で効果的な消火手法の研究開発



## 研究内容(2)

消火手法を実用化するための資機材

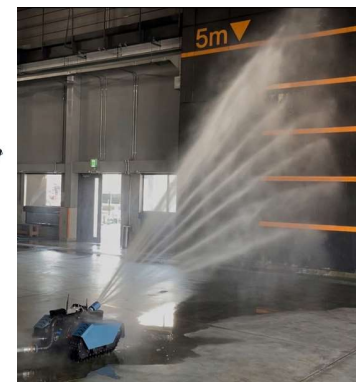
(株モリタホールディングス共同開発)



設置型



クローラ型



放水イメージ